

実施計画(案)

交通総合研究所・日通総合研究所・パシフィックコンサルタンツ共同提案体

■物流対策実施手法の検討・実施準備

1)ファーストコンタクト

- ファーストコンタクト(最初の周知活動)においては、少しでも多くの中小企業に、確実に情報を届けることが重要であるため、郵送、ポスティング、上位団体を通じた広報、中小企業とつきあいのある団体経由での周知活動等、多様な手法を実施する

2)商店街や宅配業者と連携したプロモーション

- 商店街等を対象として、直接呼びかけるなどの広報活動を行うことで、物流TDMIに対する当事者意識を誘発するとともに、物流TDMIのメディアへの露出機会を増加させ、周知を拡大させる。

3)東京圏及び都内の中小企業に効果的に周知できるコンサルタント派遣・相談

- 物流専門のコンサルタントが相談方法についてマニュアル化し、相談等に応じるコンサルタント等の派遣が可能な体制を整えて、相談に応じる。これにより一定の水準を確保する。

■対策実施管理業務

- コンサルタント等を派遣するにあたり、物流の基本的な知識、今回の東京2020オリパラ実施に際して想定される物流面での課題、問題点、対応方策等について対応マニュアルを作成する。
- 派遣先(特に中小事業者)からの質問等を想定したQ&Aも作成する。当該Q&Aについては、派遣中での質疑等を踏まえ、適宜アップデートする。派遣するコンサルタントには、上記のマニュアル及びQ&Aを使った研修を実施する。
- 派遣や相談について、技術者登録を行うとともに、日報を作成し、清算時のエビデンスを確保する

■業務実施工程表、人員配置計画、進捗管理

- 業務実施期間が短いことから、業務の工程表は、社会実験で広く用いられている手法として、作業項目をアクションに落とし込み、進捗管理、人員管理と併せて表での管理とする。
- 作業内容は毎日更新され、作業の遅れに関しては、常時把握し、リソースを含め対策を講じる。
- 人員の配置は、アクションに落とし込むことで、適任担当者を選定するとともに、日単位での予定表を作成することで、個人の予定レベルで、作業を着実に進める
- 各業務の契約時期を3月初旬と想定し、以下の項目について、作業内容を工程表に反映し、進捗を管理する

<業務内容>

- ファーストコンタクトチラシ作成、事業所統計データを基にした各事務所への郵送、代表地点のポスティング
- 各団体を通じた会報等による周知活動
- 区市の商店街連合会を通じた周知活動
- 東京都社会保険労務士会、東京都中小企業診断協会等を通じた周知活動
- プロモーション活動
- オペレーター業務(問い合わせ相談対応)
- コンサルタント派遣・相談
- HP、管理システム関連
- 経理・契約業務